

立科町ってどんな町？①

長野大学企業情報学部教授 前川道博先生

実施日：令和3年10月12日（火）



長野大学企業情報学部より、前川道博先生をお迎えし、「立科町ってどんなまち？」をテーマにお話しいただいた。全7回の講座の第1回目で、これから立科町を題材にどんなことを学んでいくのかをご講義いただいた。鹿児島県で行っている「郷中教育」に倣い、“答えを教えてもらうのではなく、誰かに教える・伝えるつもりで主体的に答えを見つけにいくこと”の意義を教えていただいた。能動的な姿勢をもって授業に臨み、最終的には立科小学校の児童に向けて、蓼科高校の生徒が立科町についてプレゼンテーションをするという目標を立てていただいた。高校生が中心となって、世代を超えた学び合いの場を作っていくことを意識できる回になった。

【生徒の授業日誌より】

・立科町の形を初めて見たけど、途中にすごく細い部分があって、50メートルくらいしかないのにびっくりした。

・意識せずに生活していたから、これからは少し意識して町を見てみようと思った。興味のあるものが見つかったら調べてみたい。立科の自然について調べてみたい。

・立科はショッピングモールがなくても、動物と触れ合える場所や景色がきれいな場所があって、自分がまだ知らないところがたくさんあるんだと思いました。自然に囲まれた温泉もとてもいいなと思いました。もっといろんなところに行ってみたり、体験したり、食べたりしてみたいと思いました。

・最終的に小学生に発表するというので、小学生にもわかりやすい話ができるようにしたいです。パンフレット等を見て、立科の山、おもに蓼科山を調べていきたいと思いました。

・自分が思っていた以上に、立科町には有名な観光スポットや、農畜産物があることがわかり、興味が湧きました。